

世紀の

19世紀：ベートーヴェン
《ディアベリ変奏曲》

巨大変奏曲

その2
(全3回)

講師 ◆ 山田 剛史

2024/3/2(土) 14:00
~16:30

受講料 ◆ 3,300円 定員 ◆ 50名 会場 ◆ 学園創立50周年記念館ホール

内容 ◆ 変奏曲とは、ある主題を少しずつ装飾、変形させていくという、最も古くからある楽曲の形式のひとつです。ある種即興的に、無限に続けていくこともできる形式なのですが、そこに秩序やコンセプトを持ち込み、見上げるほどの大伽藍を築き上げた作曲家がいます。バッハ《ゴルトベルク変奏曲》(18世紀)、ベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》(19世紀)、ジェフスキ《不屈の民変奏曲》(20世紀)。各世紀を代表する演奏時間約1時間の巨大変奏曲を、各回一作ずつ取り上げ、その全容をお話と演奏によって紐解いていきます。

第2回目である今回は、ベートーヴェン後期の大作《ディアベリの主題による33の変奏曲》です。彼の32曲のピアノソナタはもちろんどの曲も独創的ですが、ディアベリという「他者」の作った主題からベートーヴェンがいかにそのエッセンスを切り出し、自己の深奥に潜む「創造の魔物」と向き合いながら独自の世界を描いたか…それは彼がこの作品を実際には変奏曲ではなく「変容」と名付けたことから分かります。綺麗事におさまらない、アンバランスな傑作。是非一度体験していただきたい作品です。



持参物 ◆ 簡単な資料を当日配布します。

講師
紹介

やま だ たか し
山田 剛史

ピアニスト

国立音楽大学非常勤講師／東京学芸大学非常勤講師

東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了、クワイター賞受賞。ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレ、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シピリの各氏に師事。2007年第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞。ソリストとして秋山和慶氏指揮東京交響楽団はじめ共演多数。室内楽・歌曲伴奏にも定評があり、東京オペラシティ「B→C」、東京・春・音楽祭等に出演。

とりわけ、バッハと近現代作品に親しみを持つ。ニコラウス・アーノンクルのアシスタントであったアントニー・シピリと学んだことで古楽の基本理念や、その応用方法を身につけた。イギリス組曲全6曲、ゴルトベルク変奏曲、平均律クラヴィーア曲集(全2巻)など、J. S. バッハの演奏解釈に定評がある一方、テッセラ音楽祭「新しい耳」での一連の大作変奏曲の演奏、CD「モダン・エチュード」(レコード芸術誌特選盤)、「間宮芳生:チェロとピアノのための作品集」(同準特選盤、チェロ:高橋麻理子)等、多彩な活動を展開。

現在、国立音楽大学および東京学芸大学非常勤講師。秋台ミュージック・アカデミーにてマスタークラス講師。

後援: PTNA 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



©Masaaki Hiraga

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>